



ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を



例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：大塚 博巳 副会長：池ノ谷 敏正 幹事：森下 敏顯 副幹事：鈴木 舜光

第2028回

● ソング 我等の生業
● ソングリーダー 菅原 慎司君



【薔薇】

写真提供：櫻井 龍太君

会長報告

大塚 博巳君

1月もすでに後半に入りました。

今日の卓話は藤枝南クラブの「ともの眼科医院 院長伴野先生」にお願いをしてあります。よろしくお願い致します。



さて、今後のロータリー活動は大きなイベントが続きます。

2月9日には、第2620地区 地区大会 ホテルセンチュリー静岡とグランディエールブuketオーカイを中心に開催されます。

また3月2日には、静岡第5分区のIMが御前崎グランドホテルにて開催されます。

其々皆様方にご案内を差し上げております。積極的なご参加をお願いいたします。特に地区大会の出席義務者の方で、ご自身どうしても都合につかない方は、代理出席者を委員会内で探していただくようお願いをいたします。ご協力をお願いいたします。

先週もお話しました「第22回全日本高校女子サッカー選手権大会」ですが、藤枝順心高校は、決勝で残念ながら兵庫県の日ノ本学園に4対1で敗れ準優勝となりました。

しかし“全国で2位”は立派な成績です。選手の皆さんは、チームとして、個人として大きな努力をしてきたことと思います。その「自信と誇りを持ってこれからの人生に繋げて頂きたい」と願うところでございます。

当クラブの島村会員の娘さんもスタメン選手として大活躍をしてくれました。チームの半分の選手は1・2年生ですので来年に期待をいたしましょう。

尚、昨日17:00より、市長への報告会が、市庁舎1階ロビーにて盛大に行われました。

若いときに努力して成し遂げた成果の大切さについて、もうひとつお話をさせていただきます。過日、テレビで「集団歩行（行進）を成し遂げた日体大のドキュメント」をやっていました。当初は100名以上の学生がエントリーしていましたが、健康上の問題等で脱落者もあり、最終的に男女74名の学生が“集団（4組）で8連続交差”を成功させたものでした。

そのトレーニングは170日間、距離にすれば、東京～大阪間の距離を歩いたほどの大変な練習でした。

本番はわずか15分でありましたが、その本番で成功させ控室での学生の喜びの感激の涙は、テレビを見ている感動しました。

指導者は清原先生という方ですが、指導法は「学生・演技者の為（自信をつけさせる）」という強い信念の基での厳しい指導でした。

トレーニングの終盤は、学生たちも「先生の信念を感じてか、自分自身に対する意地か」見違えるほどに成果が出始め、当日の大成功につながりました。

“チーム一丸“とは・・・？ 本当に一体になったとき、自分も、周りも（見ている人）大きな感動につながる！！ ということを感じました。学生は掛合いの無い体験・自信を味わったと思います。

さて、暦のうえで20日は「大寒」でした。“大寒から立春までの期間が1年でもっとも気温が低く、降雪も頻繁になってくる。寒稽古等の耐寒行事や、寒天、酒、味噌などの仕込みに入るときでもある。そして大寒の終わりが「寒明け」で立春（2/4）となる。”とのことです。

まさに本年は全国的に寒さも厳しく、ニュース・

天気予報で「氷点下」という言葉を連日耳にします。皆様、ノロウィルス対策含めて、今しばらく健康にはご留意の上ご自愛ください。

以上、会長報告といたします。

■ 幹事報告

森下 敏顯君

- ・ 榛南ロータリークラブより
インターシティーミーティングのお知らせが届いております。
- ・ 藤枝商工会議所より
藤枝総合運動公園多目的広場の人工芝設備事業の報告とお礼の文章が届いております。
- ・ 2014-15年度ガバナーより
国際協議会報告のハガキが届きました。
- ・ 静岡産業大学より
冠講座交流会の案内が届いております。
大塚会長・森下幹事・平奉仕プロジェクト委員長の3名で出席する予定です。

■ 出席報告

河井 宏文君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
29/41 70.73%	33/41 80.49%

(1) 欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○石垣君 ○久島君 ○小林君 ○杉山君
○鈴木邦君 ○仲田廣君 ○松田君 江崎晴君
大杉君 落合君 玉木君 仲田晃君

(2) メイクアップ者

久島 正史君 (藤枝南) 杉山 静一君 (藤枝南)
栗原 毅君 (藤枝南) 松田 真彦君 (藤枝南)
小西 啓一君 (藤枝南)

■ スマイルB0X

河井 宏文君

- ・ 藤枝順心高校が第22回全日本高校女子サッカー選手権で準優勝しました。おめでとうございます。(藤枝サッカー協会役員として)

大塚 博巳君

- ・ 娘の所属する藤枝順心高校サッカー部が全国大会で準優勝する事ができました。ありがとうございました。来年は優勝して、ご祝儀をいただきに伺いたいと思います。

島村 武慶君

スマイル累計額 116,000円

■ 外部卓話

眼科診療最新情報

との眼科医院
院長 伴野正明様



本日は、先週京都であった日本眼科手術学会からの最新情報をお伝えします。一つはすぐお世話になる眼内レンズの話、二つ目は将来の医療になるだろう再生医学の話、三つ目は医療を取り巻く政治の話をしてします。

白内障は100%誰でも起る老化現象です。20%位の人に手術が必要になります。手術の完成度は高く、多くは良い視力が得られますが、より良く見るため遠近共にピントを合わせる多焦点乱視眼内レンズが承認されました。主流の単焦点レンズから、遠近でピントの合う多焦点眼内レンズ、乱視にも対応した乱視レンズ、最新は多焦点(遠中近)で乱視も直せるのが今回承認のレンズです。問題は保険適応にならずレンズ代+手術代が自己負担になり、従来法なら7万円台(保険3割負担時)が40万円近くになる点です。レンズ自体が高価なためですが、目の状態とニーズと経済状況でどのタイプにするか決めます。10%の人が多焦点眼内レンズを選択しているようです。将来は保険適用になり誰でも利便性を享受できればと思います。

再生医学では、網膜再生医療リーダーの高橋政代先生の講演を直接聞きました。はじめ受精卵からES細胞を培養増加させ、環境やいろいろな因子で様々にかわる多機能幹細胞を作り、そのなかから網膜細胞になる幹細胞を見つけ、網膜細胞移植まで技術が進歩しました。しかし免疫拒絶反応が障害になりました。ノーベル賞の山中伸弥教授がiPS細胞から多能性幹細胞作製に成功し、これを使っての網膜移植を始めました。高齢化にともない確実に増加する加齢黄斑変性症に着目し、障害される網膜色素細胞を移植で再生させ、そこから再生される網膜視細胞を構築させようとの試みです。最初の研究なのでまず安全性の検証が主目的で、効果は大きくない予想で視力回復に過度の期待はしない様にとのことです。

た。将来の医療の大きな柱になる事を周知する事業との位置づけです。

医療を取り巻く政治では、TPP 交渉と保険医療改定があります。TPP では、公的医療への商業的参入の弊害に警戒しています。株式会社病院開設、高価格医薬品の売り込み、保険制度上安くされている薬価の引き上げ等への要求です。お金があればどんな医療もうけられるが、お金がなければ命に関わる医療でも受けられない社会になるのが怖いです。さきほど話した、良いと言われる多焦点眼内レンズを誰でもが選択できる医療であってほしいものです。保険医療改定で医療費全体を上げないとなりましたが正解でしょうか。必要な医療が必要の人に皆平等に行き渡る社会にしてほしいものです。

(担当／菅原君)